

2006 関西学生サッカー選抜チーム オーストラリア遠征
 ~2006 Japan Australia Study Link Cup in Melbourne,Australia~
 2006.8.7~2006.8.12

Date・Weather	第1戦	Time	Place
2006年8月9日(水)・曇り	vs RMIT Redbacks	15:00	Bob Jane Stadium

◇試合結果◇

関西学生選抜 1 ($\begin{smallmatrix} 0 & 0 \\ 1 & 0 \end{smallmatrix} \end{matrix})$ 0 RMIT Redbacks

◇得点◇

88分 ⑩西田



《戦評》

晴れたり、曇ったり、雨が降ったりとはっきりしない天候と、粘土質の重くデコボコした土に、刈り込みされていない芝というコンディションの中、初戦のRMITサッカー部とのゲームが行われた。

当初から予想されていた大型な選手はさほど見当たらず、ロングボールの多様というようなサッカーではなく、しっかりつないでくるサッカーという予想外の展開に関西選抜チームはなかなかリズムをつかむ事が出来ず、前半34分にはペナルティーエリア内で相手をたおし、PKを与えてしまう。このPKを原田(関学大)がみごとにセーブし、前半を0-0で折り返す。

後半開始から小寺(阪南大)に代え川口(関西大)を投入し、チームの活性化をはかる。

相手の疲れが見えはじめた56分にPKを得る事が出来たが、このPKは失敗に終わる。その後もチャンスをつくり出すが、得点には結びつかない。60分、木原(阪南大)に代え阪本(関西大)、70分、船津(桃山大)に代え西谷(大体大)を投入、続く83分に熊元(大体大)に代え西田(阪南大)、小野原(関学大)に代え長島(関西大)を入れ、システムを3-5-2にチェンジする。

そして88分、ロングボールのこぼれ球を阪本(関西大)が拾い、左サイドの川口(関西大)へ、これを川口がドリブルから切り返し、右足でセンターリング、反応した西田がヘディングできっちり決め、1-0で初戦をかざった。

守備面において、玉際の弱さ、攻撃面においては決定力不足という課題が残るゲームだった。

(文責:関西学生選抜コーチ 島岡 健太)